

ラテンアメリカ

——内政と国際関係の再検証——

日本国際政治学会編

- 序章 二一世紀ラテンアメリカの政治研究……………宮 地 隆 廣
 チャベス政権支持増減の要因としての
 マクロ経済と再分配政策……………出 岡 直 也
 ニカラグアにおける個人化への過程……………大 澤 傑
 ラテンアメリカの移行期正義の特徴……………大 串 和 雄
 ラテンアメリカにおける
 ポストネオリベリズム期の地域統合……………浦 部 浩 之
 戦略的パートナーシップを通じた
 ブラジル気候変動対策への中国の関与……………舩 方 周一郎
 日本とキューバ革命……………ロメロ イサミ
 「地球儀を俯瞰する外交政策」と中南米日系社会との
 連携に関する一考察……………浅 香 幸 枝
 「芦田書簡」の再検討……………藤 田 吾 郎
 一九七三年石油危機における
 イギリスの二面的石油政策……………ミラー 枝里香
- 〈書評論文〉
 冷戦の全体像と冷戦史の時期区分論……………菅 英 輝
 アイデンティティから読み解くトルコ外交……………今 井 宏 平
 「歴史の終焉」後の歴史をどう書くか?……………納 家 政 嗣
- 〈書 評〉
 山下光著
 『平和維持をめぐる国際協力』……………中 村 長 史
 森まり子著
 『イスラエル政治研究序説』……………江 崎 智 絵
 福島康仁著
 『宇宙と安全保障』……………鈴 木 一 人